

第15号

本小の教育「授業研修会」

STEP 3

インクルシブ教育「特別支援・自立活動」

本日の互見授業は、特別支援チーム・STEP3組「玉城護統」先生の「自立活動」で、単元は、「話しを整理して相手に伝えよう。」である。人間関係を構築する為には、コミュニケーション能力は大切である。「本時のねらい」は、「相手の意図を受け止めたり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することが出来るようにする。」言語の概念の形成と、体系的な言語を狙っている。「5W」ゲームを通して、体感させ、普段の会話や日記、作文へ繋げて行く。★★ さあ～「ミッチーとゆかいな仲間達」の楽しい授業の、始まり、始まり。★★



特別支援 ステップ3 「玉城護統」先生 1校時目

【本時の流れ(学習展開)】	【教室の色(支持的風土)】	【教師の眼(教師の姿勢)】										
<p>【導入】 ミッチー先生の上手い演技 ●「ランチユイ・ワジー」をしている。 (一人で興奮して、怒っている演技)</p> <p>●「何処かで良く見かける情景だ！」 (子共達も受けて、笑っている。) (己の姿は知らず、笑っている。) (その様子を観て、笑える。)</p> <p>●「何故ワジワジしているか分かる？」 「意味が詳しく伝わらないねえ」</p> <p>●「5W」ゲームをする。(簡単なもの)</p> <p>●「子共達は、気づく」⇒「5W」が無いから伝わらないことを。</p> <p>【めあて】⇒「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうして」を使って、相手に伝えよう。</p> <p>【展開】 ①写真を見て、ワークシートに「昨年の6年生(はばたき)の、お別れ遠足の写真」を提示している。</p> <p>②自分の出来事を振り返り、ワークシートや方眼用紙に記入させる。</p> <p>③数名に発表させる。</p> <p>【終末】 【まとめ】⇒「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうして」を使って、相手に伝えると、自分の気持ちが伝わりやすい。</p> <table border="1" data-bbox="158 1948 685 2126"> <tr><td>① When</td><td>(いつ)</td></tr> <tr><td>② Where</td><td>(どこで)</td></tr> <tr><td>③ Who</td><td>(だれが)</td></tr> <tr><td>④ What</td><td>(なにを)</td></tr> <tr><td>⑤ Why</td><td>(どうして、なぜ)</td></tr> </table> <p>※ 学級経営の一貫として、日々、日記を書かせている。5Wを意識して記入出来るよう指導を継続している。</p>	① When	(いつ)	② Where	(どこで)	③ Who	(だれが)	④ What	(なにを)	⑤ Why	(どうして、なぜ)		
① When	(いつ)											
② Where	(どこで)											
③ Who	(だれが)											
④ What	(なにを)											
⑤ Why	(どうして、なぜ)											

【感想】 「特支・自立活動」 特別支援に関する大切な「特設授業」でした。本当に有難うございました。♥

- 「まず、ステップ3組の【超難敵・男・集団】を、よくぞ1つの学級としてまとめあげてくれている。」
- 「この子共達が、徐々に落ち着いて、学級の一員として、お互いを受け容れていることに大感激です。」
- 「ミッチー先生の【ゆるい対応】に、子共達が着いてくる。例えば、声かけ、態度、ジェスチャー等。」
- 「教育的のニーズ、心理的安定、人間関係の形成、コミュニケーション能力、バランス良く育てる。」
- 「この子共達が、将来しっかり社会で【生きていける力】を、つけて行こう。その為に今すべき事を。」
- 「この子共達を Focus! しっかり「見取り」ましょう。「観る」「視る」「覧る」「診る」「看る」「鑑る。」

